

福島県立医科大学「地域実習」

地域医療体験研修～『公立藤田総合病院コース』～

研修1日目（7/23(月)）

桃の収穫体験



地域医療を知るには、まず地域を知る。白衣からジャージに着替えていざ桃畑へ。

実際に現場を体験することで、炎天下で農作業する環境や高齢者が脚立を使用して作業する危険性などをより具体的に学ぶことができました。

また、農家の方と直接お話しすることで、病院に患者として来る人の実際の姿をイメージすることができ、地域医療がどれだけ地域と密接に関わっているのか、加えて地域医療への期待の大きさを感ずることができました。



穫りたての桃を皮ごと食べる貴重な体験をしました！

福島の桃は本当に美味しいことをわかっていただきました。

福島県立医科大学「地域実習」
地域医療体験研修～『公立藤田総合病院コース』～

研修2日目（7/24(火)）

桑折町保健福祉センター
「赤ちゃん触れ合い教室」



地元の中学生を対象に桑折町の保健師さんが企画した教室に参加させていただきました。
中学生と一緒に10組のお母さんと赤ちゃんに触れ合ってきました。様々な月齢の赤ちゃんに触れる機会を得たことで、幅の広い体験となりました。



離乳食を実際に赤ちゃんに食べさせたり、自分で離乳食を食べたり、貴重な体験をしました。



その後、小児科診療や子どもを取り巻く医療環境についてなど、学生からの質問に当院小児科大西周子先生が応えてくださいました。

医師を志す医大生にとって、赤ちゃんとの触れ合いは生命の尊さをあらためて感じるよい機会になりました。

福島県立医科大学「地域実習」

地域医療体験研修～『公立藤田総合病院コース』～

研修3日目（7/25(水)）

訪問看護同行



当院の訪問看護に向かう車4台に分かれ、在宅医療の患者さんのお宅を訪問させていただきました。

部屋の様子から高齢夫婦の生活の大変さを知り、着替えや排泄の補助の重労働さを知り、実際に見ないと分からない現実の有り様を医大生たちは様々な思いで感じ取ってきたようです。



患者さんの健康状態だけでなく、その家の家庭環境まで把握しなければならないことを強く感じたようです。

将来、医師となった時のとても大切な糧になりました。